令和４年度

第1回 いわて復興未来塾

～ 進化する伝承・発信と更なる交流に向けて ～

参加無料

盛岡発着シャトルバスを各日運行（定員30名）
※詳細は裏面をご覧ください

併催：いわて三陸復興フォーラム、「いわての復興を自治の進化に」第９回シンポジウム

#iiiwateフォトコンテスト2019「復興のシンボル」

定員 50 名

令和４年 7月2日（土） 14：00～17:00

会場：釜石情報交流センター
「チームスマイル・釜石ＰＩＴ」多目的集会室
〒026-0024　釜石市大町一丁目1番地10号　TEL：0193-27-8751

会場の様子は、岩手県公式インターネット番組で生配信します。
ニコニコ生放送「いわて希望チャンネル」から御覧ください。
https://ch.nicovideo.jp/iwate-kibou

14:00～14:05　**開会・知事挨拶**

14:05～14:45　**基調講演**
「デジタル技術を通じた東日本大震災津波の伝承」
相原　優一 氏
株式会社IBC岩手放送 メディア戦略部 シニアマネージャー

14:45～15:15　**事例報告**
「後方支援拠点における防災力向上に向けた伝承発信の取組事例」
千田　一志 氏　遠野市消防本部 消防長

15:25～16:55　**応援職員ＯＢ座談会**
「東日本大震災津波を忘れない ～全国からの支援と交流の歩み～」
聞き手：熊谷　正文 氏　株式会社高田松原 代表取締役社長
応援職員OB：東京都 × 大阪府 × 長野県 × 名古屋市

16:55～17:00　**総評・閉会**

（上段）
相原　優一　氏
（下段　左）
千田　一志　氏
（下段　右）
熊谷　正文　氏

定員 50 名

令和４年 7月3日（日） 10：00～12:00

会場：いのちをつなぐ未来館 周辺
〒026-0301
釜石市鵜住居町４丁目901番２号
TEL：0193-27-5666

10:00～12:00
復興現場見学会

「 現地体験プログラム
（避難路追体験、水門・防潮堤見学）」
語り部：川崎　杏樹 氏　いのちをつなぐ未来館

※現地体験プログラムには、いのちをつなぐ未来館の展示施設の解説も含みます。プログラムの詳細は、こちら。

主催：いわて未来づくり機構

お問合せ：岩手県復興防災部復興推進課　TEL:019-629-6945　FAX:019-629-6944　E-mail:AJ0001@pref.iwate.jp

基調講演（7月2日）

「デジタル技術を通じた東日本大震災津波の伝承」

○　WEBを活用し、震災の教訓をわかりやすく次世代に伝える取組についての基調講演です。

相原（あいはら）　優一（ゆういち）　氏（株式会社IBC岩手放送　メディア戦略部　シニアマネージャー）

IBC岩手放送と岩手日報によるWEBコンテンツ「碑の記憶」「鵜住居～UNOSUMAI」を制作。VR（仮想現実）や3Dマップ等での拡張報道を活用し、県内中学・高校等で特別授業を行うなど、デジタル技術を通じた伝承・発信に尽力している。

事例報告（7月2日）

「後方支援拠点における防災力向上に向けた伝承発信の取組事例」

○　沿岸被災地への後方支援の経験を通じた震災の伝承活動についての事例報告です。

千田（ちだ）　一志（ひとし）　氏（遠野市消防本部　消防長）

遠野市が運営する「3.11遠野市後方支援資料館」において、発災直後の映像等の豊富な記録資料を活用しながら、防災力向上に向けて、当時の遠野市の後方支援活動の様子や教訓の伝承活動に尽力している。

座談会（7月2日）

「東日本大震災津波を忘れない ～全国からの支援と交流の歩み～」

○　聞き手と応援職員OBによる、交流の歩みの振り返りや更なる交流に向けてのトークセッションを行います。

聞き手：熊谷（くまがい）　正文（まさふみ）　氏（株式会社高田松原　代表取締役社長）

元陸前高田市復興局長。「三陸観光のゲートウェイ」としてオープンした「道の駅高田松原」で、三陸地域の情報発信やこれまでの全国各地からの応援への感謝発信に尽力している。

現場見学会（7月3日）

「現地体験プログラム（避難路追体験、水門・防潮堤見学）」

○　震災当日、釜石東中学校・鵜住居小学校の児童生徒が避難した避難路(1.6km)の追体験、水門の操作室や防潮堤の見学、いのちをつなぐ未来館の展示の解説などを行います。

語り部：川崎（かわさき）　杏樹（あき）　氏（いのちをつなぐ未来館）

釜石市出身。釜石東中学校２年生時に東日本大震災津波を経験。語り部として、人と地域の未来を守る防災教育の大切さを幅広い年齢層の方々に精力的に発信している。

岩手県知事
達増　拓也

いわて復興未来塾とは

東日本大震災津波からの復興を力強く進めていくためには、復興を担う個人や団体など多様な主体が、復興について幅広く教え合い、学び合うとともに、相互に交流や連携をしながら、復興の推進に生かしていくことが求められます。

このため、岩手県内の産学官の連携組織「いわて未来づくり機構」では「未来づくり＝人づくり」との考え方のもと、「いわて復興未来塾」を開催しています。

※座席数に限りがありますので、申込みはお早めにお願いします。

※無料シャトルバス利用者の駐車場はご用意しておりません。

※乗車前の検温、手指消毒、マスク着用にご協力ください。座席数を減らす等の感染防止を図り運行します。

盛岡発の無料往復シャトルバスのご案内（乗車定員：各日30人）

7月2日

【往路】盛岡駅西口**10:00**発 ⇒ 県庁**10:15**発 ⇒ 釜石PIT(会場)**12:30**着
※会場到着後、開会まで釜石市内で昼食休憩

【復路】会場**17:10**発 ⇒【途中停留】釜石駅**17:15** ⇒ ⇒ 盛岡駅西口**19:15着** ⇒ 県庁**19:30着**(予定)

7月3日

【往路】盛岡駅西口 **7:20**発 ⇒ 県庁 **7:35**発 ⇒ 【途中停留】釜石駅 **9:32** ⇒ 釜石PIT **9:40** ⇒ いのちをつなぐ未来館(会場) **9:55**着

【復路】会場**12:10**発 ⇒ 大槌駅前**12:20**着
※大槌駅前の「三陸屋台村おおつち〇〇横丁」で昼食休憩 ⇒ 大槌駅前**13:20**発 ⇒ ⇒ 盛岡駅西口**15:25着** ⇒ 県庁**15:40着**(予定)

問い合わせ先

いわて未来づくり機構
（事務局：岩手県復興防災部復興推進課）
〒020-8570　盛岡市内丸10-1
TEL：019-629-6945／FAX：019-629-6944
E-mail：AJ0001@pref.iwate.jp

申込締切

令和４年６月20日（月）

申込方法

下記のいずれかの方法でお申込みください。

E-mail で申込み

件名を「**第１回いわて復興未来塾**」として、下記の必要事項をご記入の上、申込みください。

■氏名（ふりがな）■職業・所属・団体名等
■住所・電話番号・FAX　■メールアドレス
■参加を希望する日にち
■バス利用有無（乗車場所）

E-mail　AJ0001@pref.iwate.jp

FAX又は郵送で申込み

下記の「参加申込書」に必要事項をご記入の上、申込みください。

※郵送の場合は締切日必着でお願いします。

FAX　019-629-6944

第１回いわて復興未来塾　参加申込書

※定員に達し次第、参加をご遠慮いただくことがあります。
※釜石情報交流センターに駐車場はありません（周辺の駐車場をご利用ください）。
※新型コロナウイルス感染状況等を踏まえ、内容の変更や県境をまたぐ往来の自粛をお願いする場合があります。

ふりがな 氏　名		職業・所属 団体名等	
〒 住　所		Tel	Fax
		Mail	

・参加希望の方は、希望する日にちに○をつけてください。２日間とも参加の場合は両方に○をつけてください。
・無料往復シャトルバスの利用(乗車定員:各日30名)をご希望の方は、希望する日の<括弧>内の乗車場所に○をつけてください。

７月２日（土）　・　**７月３日（日）**

＜　盛岡駅西口　・　県　庁　＞　　**＜　盛岡駅西口　・　県　庁　＞**

※ご記入いただいた個人情報は、個人情報保護法に基づき「いわて復興未来塾(今後の開催予定の告知を含む)」及び「新型コロナウイルス感染予防のための連絡（会場等の求めに応じて提供する場合を含む）」以外の用途には一切使用しません。